

# SANIX

## 2008年3月期 第3四半期 連結決算説明会

株式  
会社 **サニックス**

2008年 2 月 14 日

(注) 四半期の財務数値は、監査法人による会計監査を受けておりません。  
なお、数値については、単位未満を切り捨てて表示しております。

### 目 次

---

2008年3月期 第3四半期の概況	P. 1
2008年3月期 連結業績見通し	P. 8
HS事業部門の動向	P. 13

# SANIX

株式  
会社 **サニックス**

## 2008年3月期 第3四半期の概況

### 2008年3月期：第3四半期の概況

#### 第3四半期（2007年4月～12月）

売上高	20,129百万円(前年同期比9.9%減、計画比3.8%減)
営業利益	390百万円(前年同期比1,997百万円増、計画比351百万円減)
経常利益	301百万円(前年同期比1,986百万円増、計画比379百万円減)

#### セグメント別 第3四半期のトピックス

##### ◆HS事業部門

前期第2四半期以降続いた業績低迷は底を打ち、今期7月以降は単月ベースで前年対比プラスと回復基調で推移。なお、生産性の向上により、売上高対営業利益率は26.1%(前年同期比15.8ポイント増)まで向上。

##### ◆ES事業部門

営業効率を高めるべく、ビル管理会社等との提携に注力。しかしながら、当該営業は、契約・施工までの時間を要することもあり、業績に寄与するラインには至らず、結果、新規売上は減収。

##### ◆環境資源開発事業部門

前期第4四半期に発生した苫小牧発電所の火災事故に伴い、再発防止に向けた防災設備の拡充並びに管理体制の強化を図るため、操業再開時期を当初計画より約1ヵ月延期したこと、並びに廃ガス濃度の公害防止協定値超過を受け、平成19年11月27日から20日間操業を停止したことなどにより、売電収入が低迷。

また、「廃プラ加工処理」についても発電所停止に伴い、燃料在庫の増加抑制のための搬入制限を実施したことにより、減収となった。

## 2008年3月期：第3四半期の損益計画と実績の差異

(単位:百万円)

連 結	2007年3月期		2008年3月期					
	第3四半期		第3四半期					
	実績値	売上比	実績値	売上比	前期比増減額	計画値	計画比	計画差異
売上高	22,350	100.0%	20,129	100.0%	-2,220	20,927	96.2%	-797
(HS部門)	11,727	52.5%	11,855	58.9%	127	12,062	98.3%	-207
(ES部門)	3,154	14.1%	2,579	12.8%	-574	2,848	90.6%	-268
(環境資源部門)	7,468	33.4%	5,694	28.3%	-1,773	6,016	94.6%	-321
売上原価	12,494	55.9%	11,303	56.2%	-1,191	11,582	97.6%	-278
売上総利益	9,855	44.1%	8,826	43.8%	-1,029	9,344	94.4%	-518
販管費	11,461	51.3%	8,435	41.9%	-3,026	8,602	98.1%	-167
営業利益	-1,606	—	390	1.9%	1,997	742	52.6%	-351
経常利益	-1,684	—	301	1.5%	1,986	681	44.3%	-379
当期純利益	-1,864	—	-408	—	1,455	-66	—	-342

◆売上高は、HS事業部門においては回復基調で推移し、前年同期比プラスとなったものの、環境資源開発事業部門における苫小牧発電所火災事故等の影響により、減収となった。  
利益面では、コスト低減が定着したことや、限界利益率の高いHS事業部門の堅調な推移により、前年同期比増益となった。

**SANIX** 2

## 2008年3月期：四半期毎の損益推移

(単位:百万円)

連 結	2008年3月期							
	第1四半期		第2四半期		第3四半期			
	実績値	前期比増減額	実績値	前期比増減額	実績値	前期比増減額	計画値	計画比
売上高	6,845	-2,121	6,896	331	6,387	-430	7,185	88.9%
(HS部門)	4,277	-973	4,009	785	3,567	314	3,775	94.5%
(ES部門)	860	-365	937	-48	781	-160	1,050	74.4%
(環境資源部門)	1,707	-782	1,949	-406	2,038	-585	2,360	86.4%
売上原価	3,628	-887	4,090	-94	3,585	-209	3,864	92.8%
売上総利益	3,217	-1,234	2,806	425	2,802	-221	3,321	84.4%
販管費	2,887	-1,679	2,866	-872	2,681	-474	2,849	94.1%
営業利益	330	445	-60	1,298	120	253	472	25.5%
経常利益	300	438	-68	1,313	69	234	449	15.5%
当期純利益	152	140	-573	1,016	12	297	355	3.6%

◆当第3四半期(10月～12月)の売上高は、HS事業部門は回復基調で堅調に推移し前年同期比プラスとなったものの、計画比では5.5%減となった。また、ES事業部門は新規売上が伸びず前年同期比マイナス、環境資源開発事業部門においても、苫小牧発電所で排ガス濃度協定値を超過したため自主的に操業を停止をした影響により前年同期比マイナスとなり、結果、各事業部門ともに計画比未達となった。

**SANIX** 3

## 2008年3月期：第3四半期セグメント別業績の比較

(単位:百万円)

連 結		2007年3月期		2008年3月期					
		第3四半期		第3四半期					
		実績値	売上比	実績値	売上比	前期比	前期比 増減額	計画値	計画 差異
H S 部門	売 上 高	11,727	100.0%	11,855	100.0%	101.1%	127	12,062	-207
	売 上 総 利 益	8,037	68.5%	7,960	67.1%	99.0%	-77	8,114	-154
	販 管 費	6,824	58.2%	4,864	41.0%	71.3%	-1,960	4,968	-104
	営 業 利 益	1,213	10.3%	3,095	26.1%	255.2%	1,882	3,145	-50
E S 部門	売 上 高	3,154	100.0%	2,579	100.0%	81.8%	-574	2,848	-268
	売 上 総 利 益	1,319	41.8%	968	37.5%	73.3%	-351	1,110	-142
	販 管 費	1,539	48.8%	1,098	42.6%	71.4%	-440	1,123	-24
	営 業 利 益	-219	-	-130	-	-	88	-12	-118
環 境 部 門	売 上 高	7,468	100.0%	5,694	100.0%	76.2%	-1,773	6,016	-321
	売 上 総 利 益	497	6.7%	-101	-	-	-599	119	-221
	販 管 費	1,159	15.5%	879	15.4%	75.9%	-279	877	1
	営 業 利 益	-661	-	-981	-	-	-319	-758	-223
配賦 不能	営 業 利 益	-1,938	-	-1,592	-	-	345	-1,633	40

**SANIX** 4

## 2008年3月期：商品別売上高の推移

(単位:百万円)

連 結		2007年3月期				2008年3月期		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
H S 部門	白 蟻 防 除 施 工	2,557	1,647	1,481	1,396	1,476	1,303	1,140
	床下・天井裏換気システム	1,512	908	1,007	924	629	493	386
	家屋補強システム	350	157	202	175	103	98	70
	基礎補修・補強工事	-	-	-	508	1,682	1,753	1,673
	そ の 他	830	510	561	472	386	361	296
E S 部門	防 錆 機 器 取 付 施 工	371	191	170	290	232	223	137
	建 物 給 排 水 補 修 施 工	348	377	350	254	243	269	248
	建 物 防 水 塗 装 補 修 施 工	205	170	159	132	122	198	157
	そ の 他	301	246	261	259	262	246	237
環 境 部 門	廃 プ ラ 加 工 処 理	1,216	1,225	1,382	1,239	993	983	1,175
	有 機 廃 液 処 理	569	519	497	518	454	465	509
	売 電 収 入	401	263	386	86	7	249	236
	焼 却 処 理	301	346	356	298	252	251	115

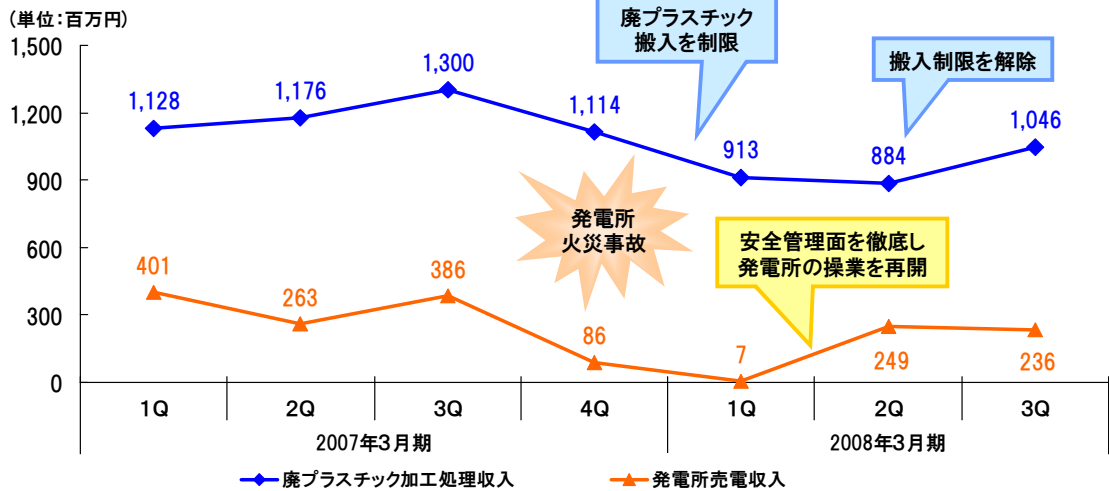
※HS事業部門における「基礎補修・補強工事」は、2007年2月中旬より販売開始。

※ES事業部門における「活水器取付施工」は、今期より「防錆機器取付施工」に名称を変更。

**SANIX** 5

## 2008年3月期：環境資源開発事業部門の課題

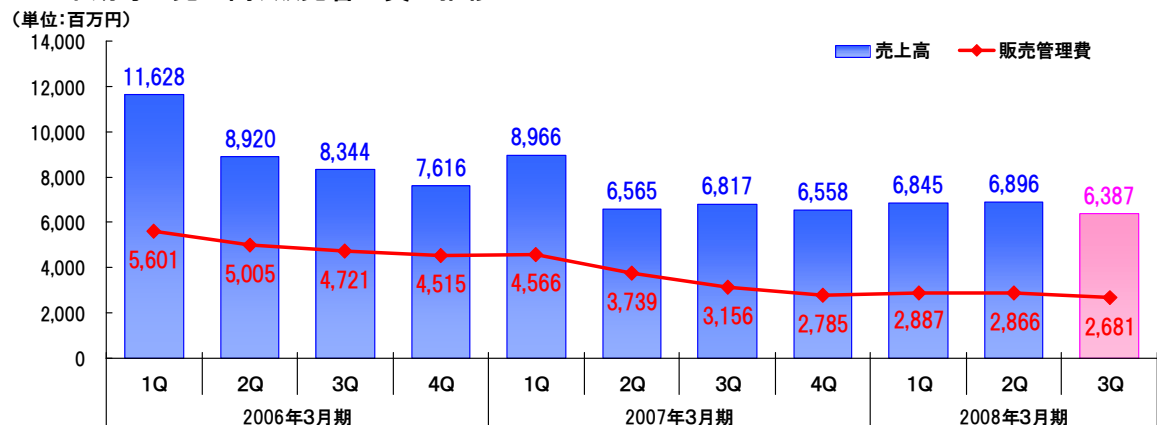
### ■資源循環型発電事業の四半期毎の売上高の推移



◆前期2月に発生したサンニクスエナジー苫小牧発電所の火災事故に伴い、燃料在庫の増加抑制のために廃プラ搬入制限を実施。6月には発電所の操業を再開したが、7月にはボイラー・タービンの法定点検を受けたこともあり、8月に搬入制限を解除。第3四半期では、廃プラ搬入量は回復基調にあるものの、火災事故前の水準までの回復には至らなかった。発電所の安定操業と廃プラの搬入量回復が課題。

## コスト削減による収益性の改善状況

### ■四半期毎の売上高、販売管理費の推移



<参考：連結在籍人員数(四半期平均値)と営業利益の推移>

	2006年3月期				2007年3月期				2008年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
在籍平均	3,159	3,084	2,974	2,897	2,902	2,611	2,122	1,885	1,801	1,744	1,652
営業利益	404	-1,228	-1,226	-1,331	-114	-1,358	-132	37	330	-60	120

◆当期売上高対販管費比率は、平均約42%。引き続き低水準を維持。

# SANIX

株式会社 **サニックス**

**2008年3月期**  
**連結業績見通し**

## 2008年3月期：通期計画について

### 通期連結業績予想数値(平成20年2月13日公表)

売上高	27,900百万円	(前回公表値:28,222百万円、増減額:△322百万円)
経常利益	1,430百万円	(前回公表値より変更なし)
当期純利益	660百万円	(前回公表値より変更なし)

◆売上高については、連結子会社のサニックスエナジー苫小牧発電所において、当第3四半期における「売電収入」が計画ラインを大きく割り込む結果となったことを受け、通期連結売上高の予想数値を修正。  
なお、限界利益率の高いHS事業部門における業績が堅調に推移していることから、上記修正による減益分をカバーすると予想されるため、利益面における計画値、並びに個別業績予想数値は据え置きとした。

#### ◇HS事業部門

基礎補修・補強工事が2月から販売2年目に入り、お客様に対する、当商品の必要性・認知度の浸透が図れてきたことで、更なる販売増を見込む。また、毎期とも年度末からシロアリ繁忙期に向け営業士気が向上するため、売上高は予想を上回る水準で推移すると見込む。

#### ◇ES事業部門

引き続き、分譲マンション、管理会社、不動産会社等との提携を推進し、売上高回復に注力。

#### ◇環境資源開発事業部門

サニックスエナジー苫小牧発電所の安定操業を維持するため、技術コンサルタントによる操業システムの再構築を図る。廃プラスチックの受入については、品質を維持しつつ、搬入制限前の水準の受入量確保に努める。

## 2008年3月期：通期の連結業績見通し

(単位：百万円)

連 結	2007年3月期		2008年3月期				
	実績値	売上比	修正 計画値	売上比	前期比	11/14 計画値	差異
売 上 高	28,908	100.0%	27,900	100.0%	96.5%	28,222	-322
(HS部門)	15,205	52.6%	16,320	58.5%	107.3%	15,977	342
(ES部門)	4,090	14.1%	3,495	12.5%	85.4%	3,918	-423
(環境資源部門)	9,612	33.3%	8,085	29.0%	84.1%	8,326	-241
売 上 原 価	16,229	56.1%	15,140	54.3%	93.3%	15,258	-118
売 上 総 利 益	12,679	43.9%	12,760	45.7%	100.6%	12,963	-203
販 管 費	14,247	49.3%	11,260	40.4%	79.0%	11,463	-203
営 業 利 益	-1,568	—	1,500	5.4%	—	1,500	0
経 常 利 益	-1,659	—	1,430	5.1%	—	1,430	0
当 期 純 利 益	-1,930	—	660	2.4%	—	660	0

◆連結子会社であるサニックスエナジー苫小牧発電所における「発電収入」が、当第3四半期の計画ラインを大きく割り込む結果となり、当第4四半期においても計画比マイナスの見通しであることから、通期の連結業績予想のうち売上高のみ修正。なお、個別業績予想については変更なし。

**SANIX** 9

## 2008年3月期：第4四半期の連結業績見通し

(単位：百万円)

連 結	2008年3月期							
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	実績値	前期比 増減額	実績値	前期比 増減額	実績値	前期比 増減額	修正 計画値	前期比 増減額
売 上 高	6,845	-2,121	6,896	331	6,387	-430	7,770	1,211
(HS部門)	4,277	-973	4,009	785	3,567	314	4,464	987
(ES部門)	860	-365	937	-48	781	-160	915	-21
(環境資源部門)	1,707	-782	1,949	-406	2,038	-585	2,390	246
売 上 原 価	3,628	-887	4,090	-94	3,585	-209	3,836	101
売 上 総 利 益	3,217	-1,234	2,806	425	2,802	-221	3,933	1,110
販 管 費	2,887	-1,679	2,866	-872	2,681	-474	2,824	39
営 業 利 益	330	445	-60	1,298	120	253	1,109	1,071
経 常 利 益	300	438	-68	1,313	69	234	1,128	1,103
当 期 純 利 益	152	140	-573	1,016	12	297	1,068	1,135

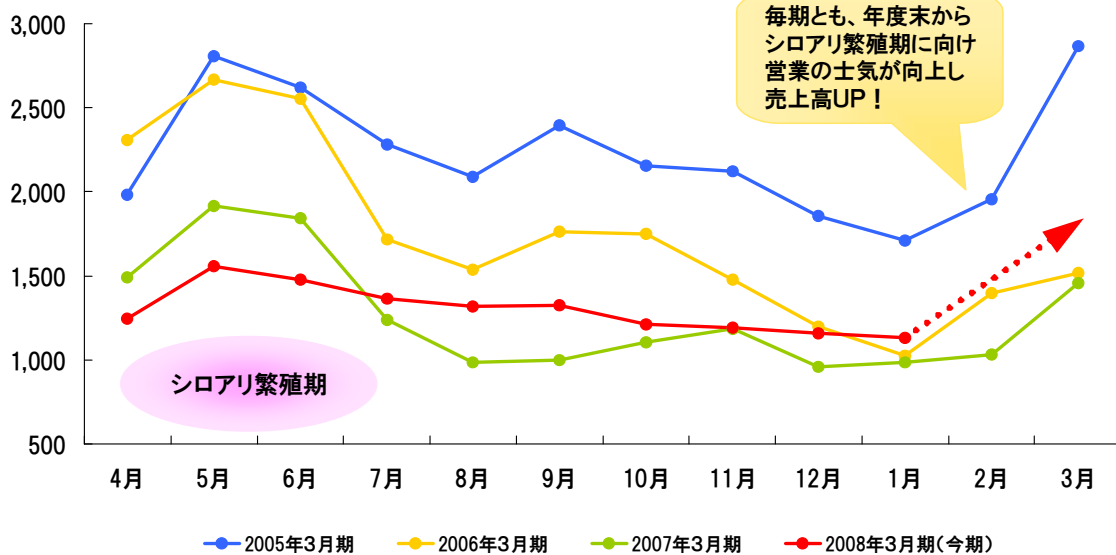
◆当第4四半期は、限界利益率の高いHS事業部門において、「基礎補修・補強工事」の業績が好調なことに加え、シロアリ繁殖期に向け、2月から3月にかけての売上高は例年通りの推移を見込む。

**SANIX** 10

## 2008年3月期：HS事業部門の売上高見通し

### ■ HS事業部門の月次売上高の推移

(単位:百万円)



**SANIX** 11

## 2008年3月期：四半期セグメント別業績見通し

(単位:百万円)

連 結		2008年3月期							
		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
		実績値	前期比	実績値	前期比	実績値	前期比	修正計画値	前期比
H S 部 門	売 上 高	4,277	81.5%	4,009	124.4%	3,567	109.7%	4,464	128.4%
	売 上 総 利 益	2,859	76.8%	2,705	129.9%	2,395	107.3%	3,114	131.3%
	販 管 費	1,657	58.6%	1,675	77.4%	1,531	83.5%	1,610	101.2%
	営 業 利 益	1,201	134.3%	1,029	—	863	216.3%	1,504	192.8%
E S 部 門	売 上 高	860	70.2%	937	95.1%	781	83.0%	915	97.7%
	売 上 総 利 益	334	61.4%	357	89.6%	275	73.4%	341	89.0%
	販 管 費	378	64.4%	371	70.0%	348	82.9%	346	92.2%
	営 業 利 益	-43	—	-13	—	-73	—	-4	—
環 境 部 門	売 上 高	1,707	68.6%	1,949	82.7%	2,038	77.7%	2,390	111.5%
	売 上 総 利 益	23	12.6%	-256	—	131	31.6%	476	704.8%
	販 管 費	294	72.3%	300	77.3%	284	78.3%	283	88.3%
	営 業 利 益	-270	—	-557	—	-153	—	193	—
配 賦 不 能	営 業 利 益	-557	—	-518	—	-516	—	-584	—

**SANIX** 12



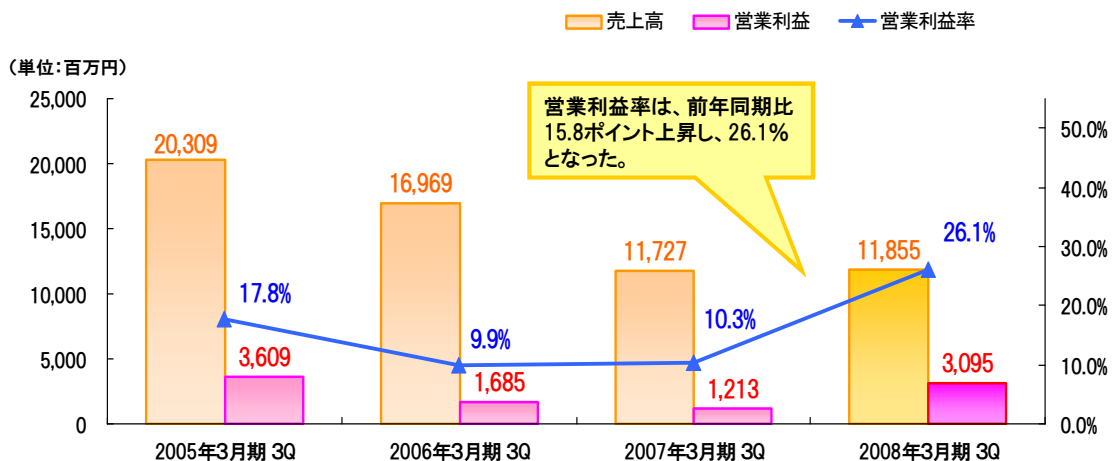
# SANIX

株式会社 **サニックス**

## HS事業部門の動向

### HS事業部門：売上高、営業利益、営業利益率の推移

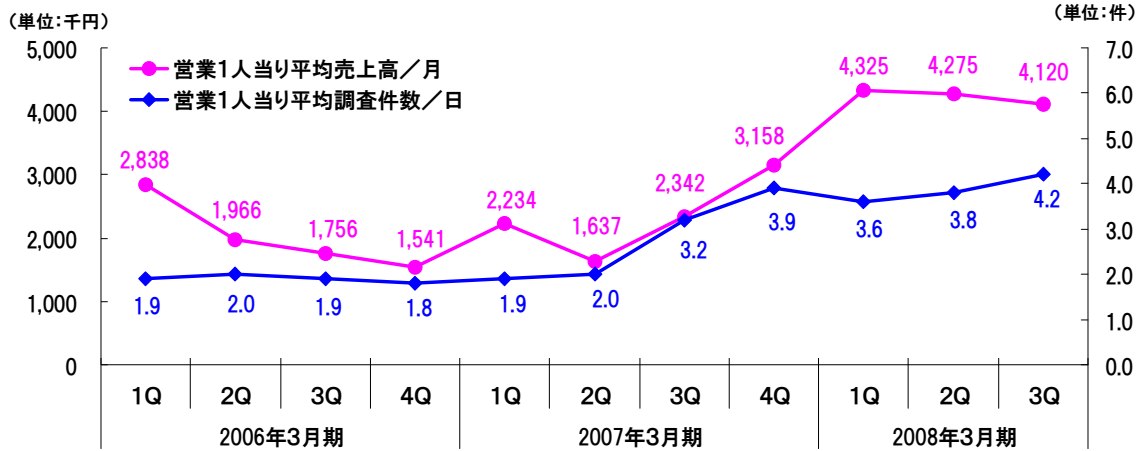
■ HS事業部門における売上高、営業利益、営業利益率の推移(第3四半期累計)



◆当第3四半期におけるHS事業部門の売上高は、回復基調がより鮮明となった。顧客中心の営業展開を推進したことにより、営業生産性が飛躍的に向上。前年同期比では、売上高は同水準ながら営業利益は約2.5倍となり、営業利益率は15.8ポイント上昇した。

## HS事業部門：営業生産性の動向

### ■ 営業1人当たり平均売上高、平均調査件数の推移(四半期ベース)



<参考:HS事業部門における営業従事者数の推移>

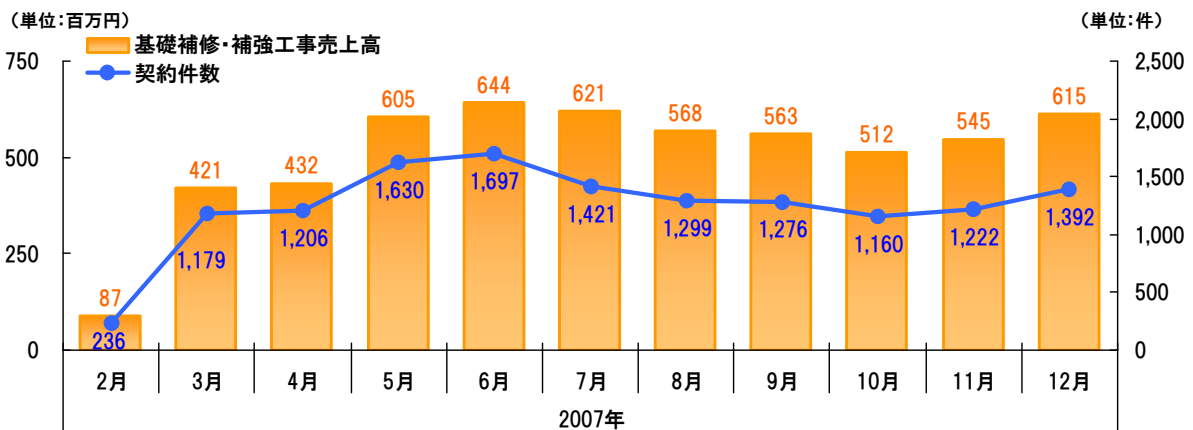
※2007年3月期 3Q以降の人員数は実稼働人員数で計算している。

	2006年3月期				2007年3月期				2008年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
営業従事者数	885	850	840	852	784	657	463	367	330	313	289

※営業従事者数は、四半期毎の平均値。

## 基礎補修・補強工事：月次売上高、契約件数の推移

### ■ 基礎補修・補強工事：月次売上高、契約件数の推移(2007年実績)



◆2007年2月中旬より販売を開始した新商品「サンニクス基礎補修・補強工事」の販売件数は堅調に推移し、HS事業部門における総売上高の約4割を占めるほどにまで成長。当事業部門における主力商品の一つとなっている。現在、「サンニクス基礎補修・補強工事」は販売開始より2年目に入り、当該商品の必要性並びに認知度の浸透が図れてきたことにより、今後も堅調に推移すると見込まれる。

なお、2000年6月に販売を開始した「サンニクス家屋補強システム」の場合、2年目の販売件数は1年目に比して約2割増で推移した。